

# 2015年秋 消費者の暮らし向きに関するアンケート 調査結果 (サマリー)

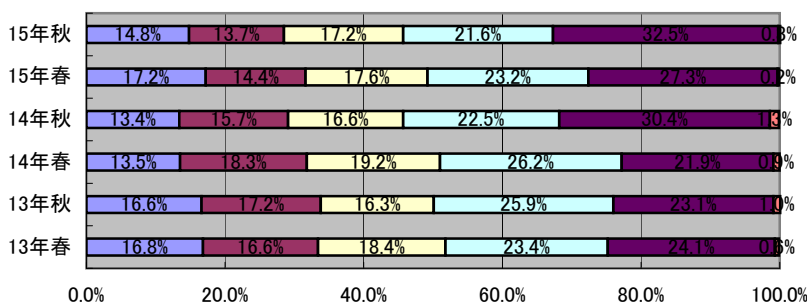
調査名	2015年秋の「消費者の暮らし向きに関するアンケート」調査
調査時期	2015年9月
調査対象	県民生協組合員14万人の中から2,500人を無作為抽出(福井県の年齢・市町別構成比で)
調査者	公益社団法人 ふくい・暮らしの研究所
調査内容	消費者の暮らし向き、力、貯蓄、ボーナス、お歳暮、暮らし・食・環境・福祉等の意識調査 福井県の消費者の消費動向(消費者マインド)を把握するために半年に1回定期的に行っている調査で、今回で24回目となる
回答状況	配布数2,501枚、有効回答数955枚、回答率38.2%

## 年齢構成と平均年齢

前回の調査と比較し、65歳以上の占める割合が多く、平均年齢も高くなっています

年齢構成

■35歳未満 ■35歳～45歳未満 □45歳～55歳未満 □55歳～65歳未満 ■65歳以上 ■無回答



平均年齢比較

13年春	52.2
13年秋	52.2
14年春	52.5
14年秋	54.1
15年春	52.9
15年秋	54.3

平均年齢(歳)  
 …35歳未満:30、  
 …35歳～45歳未満:40  
 …45歳～55歳未満:50  
 …55歳～65歳未満:60  
 …65歳以上:70  
 として平均値を算出

## 将来への不安から、暮らし向きに楽観できず、「支出を増やさず」、「貯蓄は減らさない」!(図表1～3)

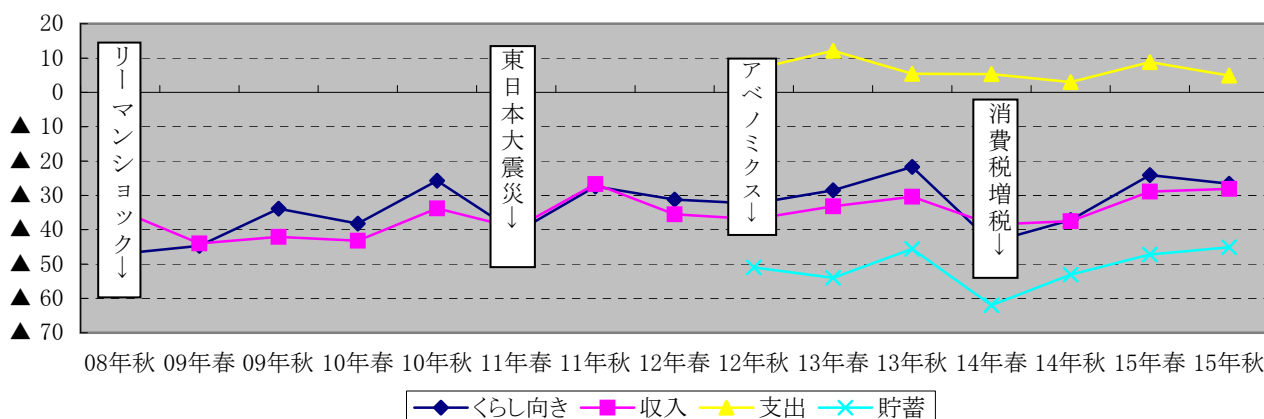
公益社団法人ふくい・暮らしの研究所の標記アンケート(2015年9月実施、有効回答数955)によると、今後半年間の暮らし向きは春(2015年3月の同調査)と比べ、D. I. 値で、「収入」(+0.8ポイント)と「貯蓄」(+2.1ポイント)はわずかに向上していますが、「支出」(-3.9ポイント)と「暮らし向き」(-2.5ポイント)は低下しています。

一方、実質の「暮らし向き」D. I. 値は▲23.0、実質の「収入」D. I. 値は▲24.1と、春の調査よりは向上しています。春に比べて、実質の暮らし向きには改善傾向が見られるものの「収入が増えたとしても支出をしぼって、貯蓄にまわそう」とする消費者マインドが伺われ、将来に対する不安や、景気の先行きへの警戒感が読み取れます。

図表1 今後半年間の暮らし向き、収入、支出、貯蓄(比率) ※全国比率は、内閣府公示の15年10月度「消費動向調査」より抜粋

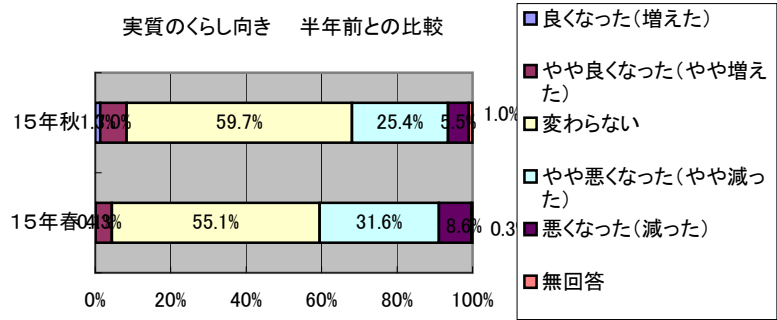
	暮らし向き			収入			支出		貯蓄	
	15年春	15年秋	全国	15年春	15年秋	全国	15年春	15年秋	15年春	15年秋
良くなる(増える)	1.0%	0.6%	0.4%	0.6%	0.5%	0.3%	8.3%	5.5%	0.3%	0.5%
やや良くなる(やや増える)	4.9%	2.6%	3.3%	6.1%	4.7%	3.5%	23.9%	22.3%	4.2%	4.5%
変わらない	63.2%	65.9%	56.4%	56.8%	60.4%	61.8%	41.9%	47.6%	42.8%	43.8%
やや悪くなる(やや減る)	23.1%	24.5%	30.8%	24.8%	23.9%	23.9%	15.7%	16.0%	29.6%	27.4%
悪くなる(減る)	6.6%	4.9%	9.0%	10.3%	9.0%	10.5%	8.0%	7.0%	21.4%	21.9%
無回答	1.2%	1.5%		1.4%	1.5%		2.2%	1.5%	1.7%	1.9%
D. I. 値	▲24.1	▲26.6	▲36.1	▲28.9	▲28.1	▲30.6	8.8	4.9	▲47.2	▲45.1

図表2 今後半年間の暮らし向き、収入のD. I. 値経年推移



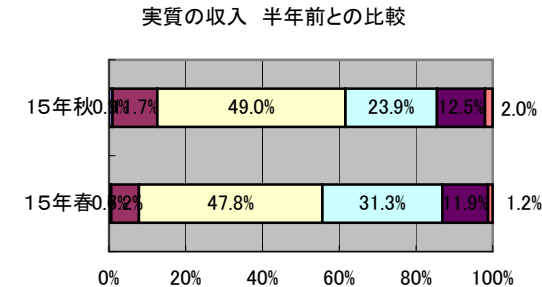
図表3 実質の暮らし向き、収入(%)

	実質のくらし向き	実質の収入
良くなった(増えた)	1.3%	0.9%
やや良くなった(やや増えた)	7.0%	11.7%
変わらない	59.7%	49.0%
やや悪くなった(やや減った)	25.4%	23.9%
悪くなった(減った)	5.5%	12.5%
無回答	1.0%	2.0%
D. I. 値	▲ 23.0	▲ 24.1



図表3 ② 実質の暮らし向き、収入(%) 春とのD. I. 値比

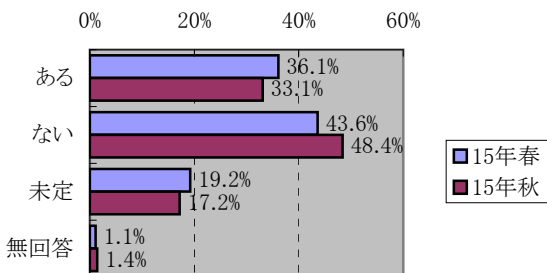
暮らし向き		収入	
15年春	15年秋	15年春	15年秋
▲ 35.8	▲ 23.0	▲ 35.9	▲ 24.1



**旅行予定は低調気味、北陸新幹線は利用実績なしが多数も、今後「利用すると思う」は増加。(図表4～8)**

今後半年間の旅行予定が「ある」と答えた方が33.1% (春は36.1%)と減少、旅行先では、国内遠距離は38.3%に減り(春は49.8%)、国内近距離が55.1%に増えました。(春は42.2%)。平均予算も7.5万円(春は8.3万円)と全体的に低下気味の傾向にあります。北陸新幹線を実際に利用した人は、1回・2回以上利用あわせて8.9%となりましたが、今後の利用に関しては、春の調査に比べると「ほとんど・全く利用しないと思う」回答は減っており、開業後、北陸新幹線に対する見方は変わったといえそうです。

図表4 今後半年間の旅行予定(比率)

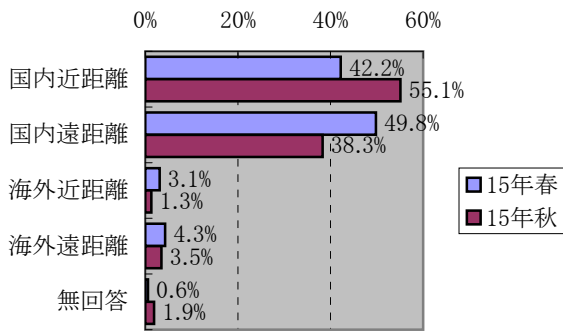


図表6 旅行予算(比率)

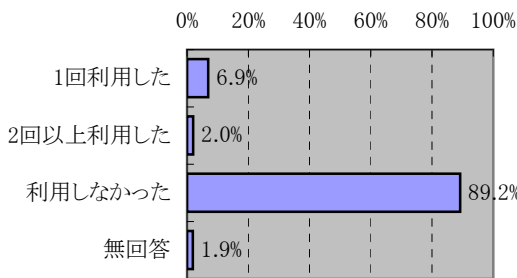
	15年春	15年秋
1万円未満	1.8%	3.2%
1～5万円未満	30.5%	38.3%
5～10万円未満	36.0%	32.0%
10万円以上	30.5%	25.9%
無回答	1.2%	0.6%
平均旅行予算	8.3	7.5

万円

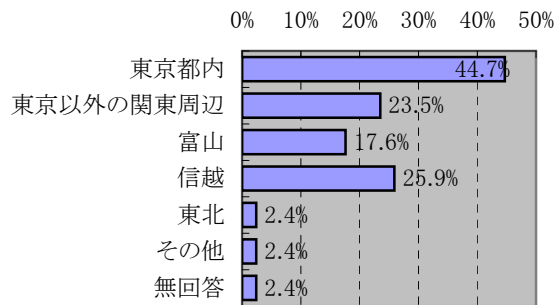
図表5 旅行先(比率)



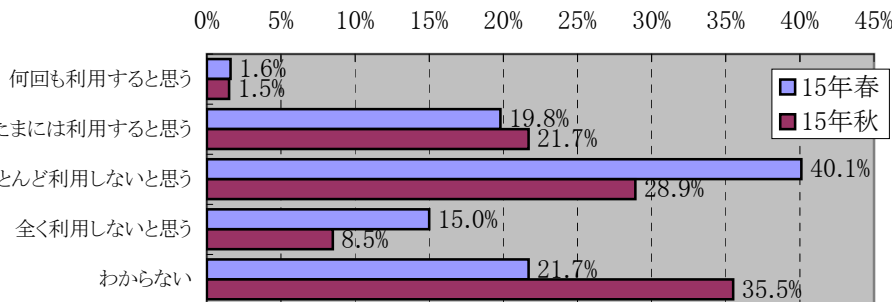
図表7 北陸新幹線の利用実績(%)



図表8 北陸新幹線で行ったところ(複数回答:%)



図表9 (今後)北陸新幹線を利用したいと思いますか



**貯蓄額と、ボーナスが出そうな割合は増える。ただし貯蓄の目的やボーナスの使い道などの傾向は変わらず。**

貯蓄を「している」割合は76.8%で、春(79.0%)と比べてあまり変わっていませんが、貯蓄額平均は増加しました。(819万円⇒885万円)

冬のボーナスは、「出そうだ」の比率が増えています

それ以外の傾向(貯蓄の目的、ボーナスの予想額・使い道)はあまり変化がありませんでした。ただ、ボーナスの購入予定商品で「贈答品」が初めてベスト5に入っています。

**お歳暮は、デパートやショッピングセンターで、商品カタログを見て、贈り先の趣味・嗜好に合うかを重視して購入する方が多く、高価格商品の価格帯目安は6~7千円、低価格商品の価格帯目安は3~4千円!**

お歳暮を「贈る」方は春の調査結果と比べて大きく変わっていません。主な購入先は「デパートやショッピングセンター」「生協」、「専門店」の順で多く、「商品カタログを見て」「目で見て」購入する方が多くなっています。贈答品選定で重視することは「贈り先の趣味・嗜好に合うか」や「地元福井の商品(ご当地商品)」が多くなっています。送り先は「県内が多い」と回答された方が最も多くなっています。高価格商品の価格帯目安は6~7千円で、低価格商品の価格帯目安は3~4千円となっています。お歳暮で購入予定の商品上位は、定番の「ビール」「日本酒・地酒」や「和洋菓子」、「ハム」等と変わっていません。ただし、「かに」「米」「コダイの笹漬け」のような季節ならではの品物も10位以内に入っています。